

しまぎよう

だより 令和7年
10月号

Vol.
186



支える人も支える募金

地域の子どもの
居場所も
支える人



地域の
防災対策も
支える人



誰もが
参加できる
場づくりも
支える人



日々の生活に
困っている方も
支える人



いきいきと暮らし
続けられる地域も
支える人



スマホからも、
募金できます♪



あなたの町の困りごとの解決のために、奮闘している人たちがいます。
誰かのために真剣に向き合っている人たちがいます。
集まった募金は、そんな彼らの活動をはじめとした、
地域をより良くする取り組みに使われています。

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、 支える人を支える募金です。



私たちの住むまちには、暮らしていくのに助けが必要な人たちがいます。
助けが必要な人たちのために、いろいろなボランティア団体などが活動しています。
活動に必要なお金を1人で出すのは大変なことだけど、みんなでちょっとずつ寄附すれば、より多くのお金が集まって、たくさんの人が活動にかかわることができます。
それが、赤い羽根共同募金です。

赤い羽根共同募金5つのポイント

- ① 地域の福祉活動を支援
- ② 寄附の使い道は審査委員会で決定
- ③ 寄附する人もお願いする人も、みんながボランティア
- ④ 都道府県を単位に実施
- ⑤ 実施期間は10月1日～3月31日まで

令和7年度 山形市目標額

31,895,000円

Q どうして募金なのに目標額があるの？

A 赤い羽根は計画募金です。

赤い羽根共同募金は、使いみちの額を事前に定めてから寄附を募る「計画募金」です。

あらかじめ地域の福祉団体（地区社会福祉協議会や学童クラブ、ボランティア団体など）から助成の申請を受け、必要とされる目標額を定めてから実施します。

Q いつから始まったの？

A 1947年（昭和22年）からです。

太平洋戦争がおわって、焼け野原でたくさんの人たちが苦しんでいるなかで、助けあいの「赤い羽根共同募金」がはじまりました。

最初は、戦争で家や家族をうしなった子どもたちのために、寄附が役立てられました。



令和6年



令和元年



平成元年



昭和22年

地域の活動を生活支援コーディネーターがご紹介します!!

第一地区

認知症カフェが リニョール

認知症カフェ「おれんじカフェさくら」が、令和7年度より地区社会福祉協議会（会長武田信博氏）主催となり、「おれんじカフェQ1」としてリニョールしました。

コーヒー豆を挽いて素敵な香りに包まれながら、参加者の皆さんで認知症について学んだり音楽で楽しく脳を活性化させたりしながら、にぎやかで楽しい時間を過ごしています。カフェには福祉関係の専門職も同席し、別室でご家族からの相談も受け付けています。



出羽地区

大郷地区

明治地区

千歳地区

ちえっとサポーターず始動!

令和6年度に四地区合同で生活支援の担い手養成講座「ちえっとサポーター養成講座」を開催し、スーパーや移動販売での買い物支援や、コーヒーの効用を活用した心地よく過ごせる場づくりについて学びました。

その後、コーヒーを淹れるボランティアとして地域の活動に参加したり、どんなでも心地よく過ごせる居場所「喫茶ちえっと」をオープンしたりと、活躍の場を広げています。



大曾根地区

大曾根 さわやか体操の会

生活支援コーディネーターが、地域のサロンにお伺いした際に、「定期的に体を動かす場所があるといいな」「みんなで一緒に体操できるといいな」「近くで百歳体操をしてほしい」などの声が聞こえてきました。その声を大曾根さわやか荘さんにお届けしたところ、「ロビーのテレビを使っていよいよ」と、なんとありがたい言葉があり、7月3日（木）から百歳体操を始めることになりました。近隣住民のご理解、ご協力のもと、老人福祉センターとの素敵なコラボ企画が生まれました。みんなと一緒に体を動かしたい方は、お気軽にご参加ください。



日時

毎週木曜日

午前9時30分～午前10時10分

場所

大曾根さわやか荘

（山形市並柳47番地）

* 入浴料 100円

* 山形市内に居住する

満60歳以上の方利用可

地域のお宝発見フェスティバル

これって福祉だったんだ

地域にある『居場所』や人と人との『つながり』は大切な地域の宝物。
そんなお宝をみてみませんか？

日時 令和7年10月18日（土）

午前10時～午後4時

会場 山形市総合福祉センター（山形市城西町二丁目2番22号）

お問合せ 福祉のまちづくり係 電話 023-645-8061

FAX 023-645-9236

プログラム(予定)

10:00～ オープニングセレモニー

10:20～ 地域のお宝発見発表会

11:15～ ボランティア交流会(活動発表)

11:15～15:30

飲食コーナー(屋外)

- ・福祉事業所の販売会
- ・キッチンカー

飲食コーナー(屋内)

- ・コラボ手話カフェ

競技用車いす体験会×エキシビジョンマッチ
体験コーナー

- ・輪投げ、ボッチャ、モルック
- ・ナースが伝えるハンドケア
- ・工作ワークショップ

13:00～ 福祉学校

14:30～ ボランティア交流会(情報交換)

15:30～ クロージング



ボランティア交流会

○活動発表

様々な特技を披露していただきます

○情報交換

ボランティア活動をしている方々と
交流してみませんか？

地域のお宝発見発表会

素敵なお宝が見つかるかも！



2
回
目

コラボ手話カフェ



手話サークル 手話っち
東北文教大学 認知症カフェ部
ちえっとサポーターによるカフェがオープンします。

福祉学校

テーマ 『誰もが人とのつながりを感じられる社会を目指して』

講師 一般社団法人 えんがお

濱野 将行 氏

〈略歴〉

栃木県矢板市出身、作業療法士。

孤立の予防と解消を目指し

2017年5月「一般社団法人 えんがお」を設立。

全世代が日常的につながり、

共に支援し合う地域コミュニティを目指す。



競技用車いす体験会

×

エキシビジョンマッチ

山形車いすバスケットボールチーム
IB.BROTHERS



体験コーナー

- 輪投げ ○ボッチャ
- モルック
- ハンドケア
(生活お役立ち隊)



他にも福祉事業所の販売会、キッチンカー、スタンプラリー、活動紹介のパネル展示など、楽しいことがいっぱいあります。どなたでも参加できますので、ぜひ遊びに来てください。障がいのある方など、手助けが必要な方は申し出下さい。

一緒に子どもの居場所づくりをしませんか？

子どもの居場所のひとつとして、子ども食堂があります。山形市内には、令和7年7月末現在で約30の食堂があります。子ども食堂は、手づくりの温かい食事をみんなで囲むことでお腹だけではなく、心も満たされ、人とのつながりや様々な経験を育む場にもなっています。このような活動を継続するためには、多くのボランティアの手が必要です。地域や子ども、未来のために一緒に活動してみませんか？



見つけよう！ 探そう！ 子どもに優しい場所

まずは見学をしながら一緒に食事をたのしみましょう。子どもの居場所は、ボランティア自身の居場所でもあります。子ども達の笑顔に会いに来てください。



ボランティアさんの声

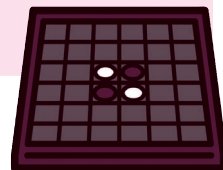


私の担当はキャベツの千切りです。
千切り専門のボランティアです。



多世代交流が楽しく、生きがいを持って活動しています。

調理は苦手なので、子ども達と一緒に遊んでいます。子ども達も大人との関わりを楽しんでいます。



ボランティアの一日

- メニューを考える
- 買い出しに行く
- 調理の下ごしらえ
- 調理をする
- 子どもと遊ぶ
- 配膳の準備
- 後片付け

などなど

すべての活動を行わなくても大丈夫です。自分の得意なことをできる範囲で活動することができます。

お問合せ

子どもの居場所づくり支援センター

電話 023 - 645 - 8061

第70回

山形市民総合社会福祉大会

主題 ふれあいやまがた福祉文化のまちづくり

主催 山形市・山形市社会福祉協議会・山形県共同募金会山形市共同募金委員会

日時 令和7年10月20日（月）
午後1時30分から

場所 山形テルサ テルサホール
（山形市双葉町一丁目2番3号）

内容

（1）基調講演

「地域共生社会の実現に向けて
～住民主体の視点から～」

講師 日本福祉大学 学長

原田 正樹氏

（2）表彰・顕彰

参加者 社会福祉、保健、医療、
教育等関係者及び一般市民

参加費 無料

その他 手話通訳者・要約筆記を
配置いたします。



やさしいきもちを

ありがとう寄附者紹介

みなさんからのご厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄附につきまして、令和7年6月1日から令和7年8月31日までの分を掲載いたします。（敬称略・順不同）

山形市社会福祉基金

●物資・労力

・（有）ハーバー
コーポレーション
・亞呉屋 山形本店
・匿名

・訪問診療クリニック
やまがた
・山形県遊技業協同組合
退職公務員連盟
山形支部

山形市善意銀行

●現金預託

・きらやか銀行
中央営業部きらやか会
・安食克彦

・高山由美子
・山形フィルハーモニー
交響楽団
・鈴木順一
・匿名（4件）

寄附および賛助会員の募集

住民参加のまちづくりを進めるため、
ご支援のほどよろしくお願いいたします。

会費

個人	三、〇〇〇円以上
団体	一〇、〇〇〇円以上
法人	一〇、〇〇〇円以上

ご協力下さる方へ

恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。必要な手続きをお伝えします。

TEL 023-645-9230
FAX 023-645-8015

しゃきようだより
市民の皆様から
いただいた声を、
ひとつひとつ大切に。

10月

／ たくさん感想をいただきました！
／ その一部をご紹介します！

● 今まであまり考えていなかった福祉について知る機会となり、福祉への興味関心が高まった。(20代)

● いつも人との交流をとおして若々しくいられます。ありがとうございます。(70代)

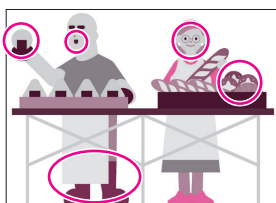
● 福祉協力員がこんなにたくさんいらっしゃることを知り、驚きとともに大きな安心を感じました。(50代)

● 支え合いや社会的なつながりはとても重要性を感じます。(20代)

● 他の地域の活動内容が掲載されているので参考になります。(70代)

ちがうところはどこ？

上と下の絵で5コのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？
7月号 (vol.185) 答え

- ①男性のヒゲ ②女性のメガネ
③おにぎりの形 ④男性の靴
⑤パンの数

クイズに答えて Present プレゼント！

山形市
総合福祉センター 1階
軽食喫茶
「ふれ愛」お食事券
抽選で15名様

クイズ：赤い羽根共同募金は
どんな募金でしょう

キーワード：支える人を

〇〇〇募金

※ヒントは表紙を見てね

●応募方法／クイズの答えと必要事項を記入し、ハガキまたは下記二次元コードからご応募ください。
当選は発送をもってかえさせていただきます。

●宛先／〒990-0832
山形市城西町二丁目2番22号
社会福祉法人
山形市社会福祉協議会あて

応募は
こちらから↓



●締切／令和7年10月31日(金) (当日消印有効)

- ①クイズの答え (キーワード)
②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
⑥電話番号
⑦「しゃきようだより」の感想

社協(しゃきよう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は1月号です。